

かけはし

研究によせて

本園・本校は、令和元年度より東京都教育委員会及び荒川区教育委員会のモデル園・校として、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続」を目指した取組をしてまいりました。研究だより「かけはし」では、その取組の内容や子どもたちの様子について、お知らせしていきます。

本号では、昨年度までの活動の様子と、春の5歳児・1年生・2年生の姿をご紹介します。



「ななはけラボ」は遊びと学びをつなぐ部屋

5歳児⇒小学校の施設を活用することで、小学校生活への意欲を高めたり、小学生の活動に刺激を受けたりし、園での生活がさらに充実する。

1年生⇒保育室と似た環境で安心感を得られ、今までの生活経験を思い出しながら学校生活や学びに活かすことができる。

2年生⇒これまでの学びを想起したり、学びの視点をより焦点化した学習活動を展開したりできる。



1年生
遊ぶだけではなく、調べたり、わかったことを共有したりするための場としてもラボを活用しています。



5歳児
小学校の施設内で遊んだり、小学生と交流したりして、小学校への関心をもちました。



2年生
去年の経験を思い出しながら、自分たちで調べたり、学習の計画を立てたり。学びが広がっています。

幼保小接続専門員 仲田恵より 幼児・児童の活動の様子

幼保小接続専門員とは、東京都より配置された幼児教育と小学校教育の接続についての研究に寄与する専門職です。折り紙名人の元幼稚園長が観察した子どもたちの様子をお伝えします。

5歳児 「ななはけラボ」で遊ぼう

町屋幼稚園いるか組に小学校の先生から「“ななはけラボ”に遊びに来てください」という手紙と地図が届きました。森山先生と一緒に地図を見ながら“ななはけラボ”を発見。「小学校に来た!」「保育室と違う物がいっぱい!」ということに子どもたちの目が輝きました。

棚の中にあった遊具や楽器、図鑑等を自分たちで持ち出し、遊び始めました。つなげたり、積み上げたり、並べたり、鳴らしたり、読んだり、じゅうたんの床に座って取り組んでいました。

「こんなのできた」「こうしたら転がった」「たくさんあってビックリ!」「おもしろいなあ」と楽しい経験ができました。



1年生 生活「わくわく どきどき しょうがっこう」

授業で緊張しながら勉強する子どもが多かった4月。教室に塗り絵や折紙等があり、学習前に取り組み保育園や幼稚園、こども園で経験したことができホッと一息。さらに、“ななはけラボ”という教室があり、そこにはブロックや積木、絵本、楽器、ホワイトボード等から、子どもたち自らが選んで取り組める環境になっています。

4月は遊ぶことが多かったですが、“ななはけラボ”に行って校庭で見つけた春についての考えをまとめたり、朝顔の種や育て方について調べたりと、学習で使う機会が増えてきました。遊びだけでなく学習に対しても自分からやろうという気持ちを大切にしています。



2年生 「学習の広がり」

2年生では教室から“ななはけラボ”、そして図工室へと学習の場がどんどん広がっています。また経験もより豊かになっています。教室では給食に使うグリーンピースの皮むきをしたり、“ななはけラボ”で多くのことを調べたり、初めて図工室に行って図工専科の竹島先生からいろいろ教えていただいたりしています。

新たな環境で学習することで「房の中に豆は何個かな」「この野菜にしようかな」「こうしたらどうなるんだろう」と自分から取り組もうとする姿が多くなってきました。これからの広がりが楽しみです。

